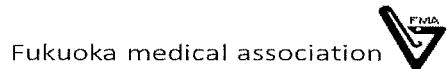


# 准看護師制度をとりまく現況について

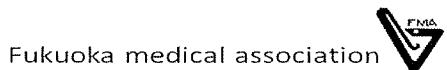
平成30年9月19日(水)

福岡県医師会  
理事 青柳 明彦



## 福岡県内の看護職員数について

県内の就業看護職員数は、平成28年12月末現在で、平成20年と比較して9,769人増加し、78,058人となっているが、平成22年度に策定された「福岡県第7次看護職員需給見通し(平成23年～27年)」における平成27年の需要見込み数80,634人を下回っている。

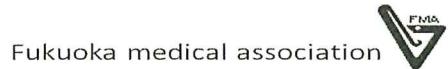


## 福岡県の就業看護職員数の推移

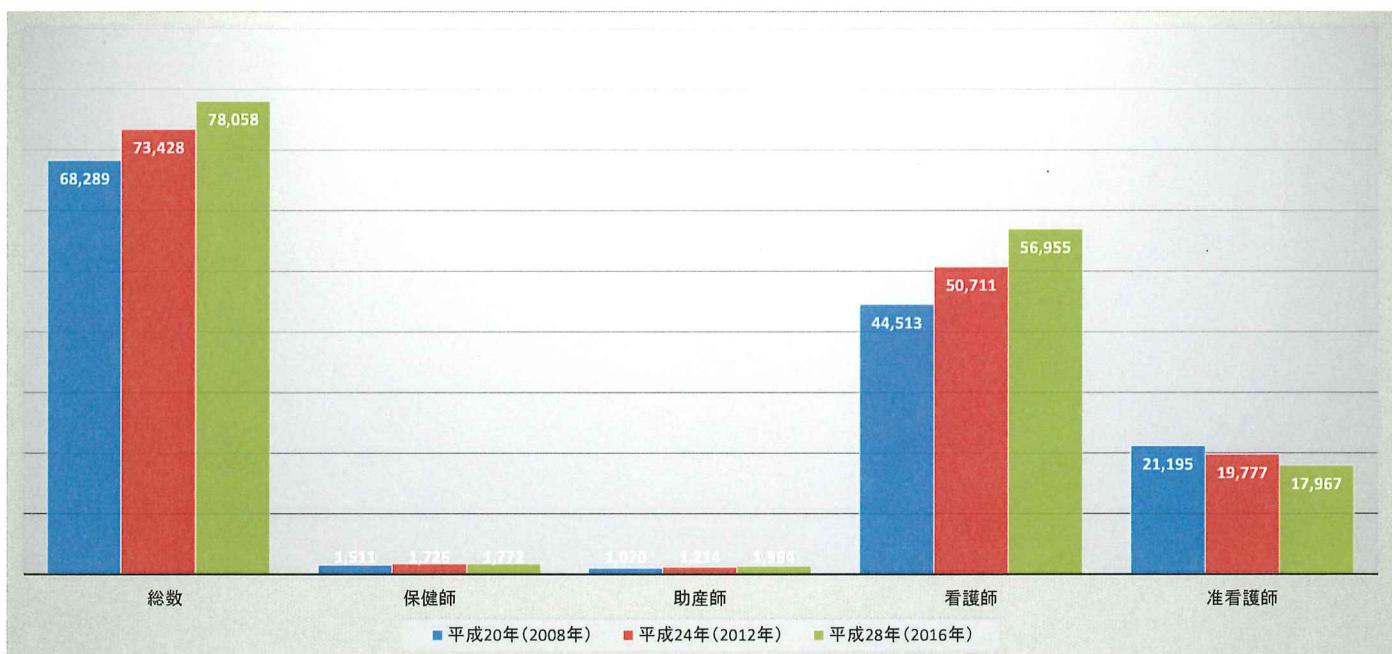
(単位:人)

	総数	保健師	助産師	看護師	准看護師
平成20年 (2008年)	68,289	1,511	1,070	44,513	21,195
平成24年 (2012年)	73,428	1,726	1,214	50,711	19,777
平成28年 (2016年)	78,058	1,772	1,364	56,955	17,967

出典:厚生労働省「衛生行政報告例」平成28(2016)年12月末現在



## 福岡県の就業看護職員数の推移



# 医師会立看護師・准看護師養成所の役割

## 1. 地域の看護職は地域で養成・確保

郡部・へき地等での看護職の確保は、地元出身者を看護職として養成することが必須。医師会立養成所が閉校すれば、その地域の看護職員不足はなお一層深刻となることは明らかである。

## 2. 社会人等の受入れ

少子化が進展する中で、新卒者だけに頼っていては、超高齢社会を支える看護職員を確保することはできない。社会人経験者等が看護職に進むための道として、准看護師養成所が果たす役割は大きい。



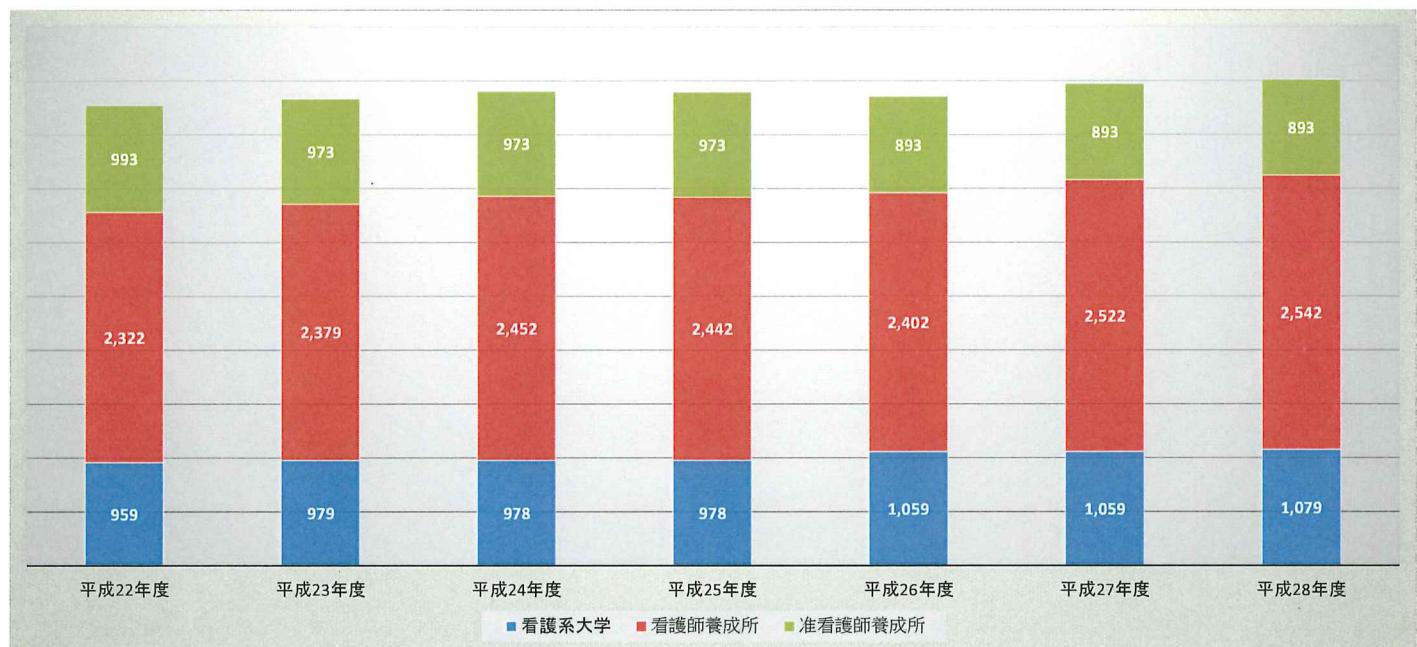
## 福岡県内看護師・准看護師養成施設の1学年定員数の推移

(単位:人)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
看護系大学	959	979	978	978	1,059	1,059	1,079
看護師養成所	2,322	2,379	2,452	2,442	2,402	2,522	2,542
准看護師養成所	993	973	973	973	893	893	893
合計	4,274	4,349	4,403	4,393	4,354	4,474	4,514

出典:厚生労働省「衛生行政報告例」平成28(2016)年12月末現在

## 福岡県内看護師・准看護師養成施設の1学年定員数の推移



## 福岡県内の看護師・准看護師養成施設における卒業者の進路

(単位:人)

養成施設別		卒業者数	卒業者内訳				
			就業者数			進学者数	その他
			就業者総数	県内 就業者数 (上段(人)下段(%))	県外 就業者数 (上段(人)下段(%))		
看護師	大学	1,010	915	597 (65.2)	318 (34.8)	56	39
	養成所 (3・2年課程)	1,793	1,667	1,194 (71.6)	473 (28.4)	23	103
	5年一貫校	359	340	263 (77.4)	77 (22.6)	4	15
准看護師		780	569	514 (90.3)	55 (9.7)	143	68
合計		3,942	3,491	2,568 (73.6)	923 (26.4)	226	225

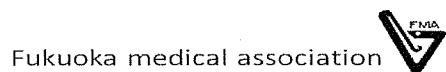
出典:看護師等学校養成所入学状況及び卒業生就学状況調査(平成28年3月現在)(厚生労働省) Fukuoka medical association



## 今後の准看護師制度に期待されること

厚生労働省の推計では、2025年に十万人程度の看護職員が不足する見込みだが、2年間で資格取得が可能な准看護師制度を継続させることにより、一人でも多くの看護職員を養成し、将来必要とされる医療提供体制を確保する。

高度医療や急性期医療を担う看護職員も必要だが、在宅医療の推進により、訪問看護や介護施設等でのマンパワー確保が課題となっているが、地元定着率が高い准看護師はその課題解決の一助になる。



## まとめ

本来、看護職員の養成は、医師、歯科医師同様、国が責任をもって行うものであるが、その取り組みは十分であるとは言えない。そのため、各医師会が地域医療を守ることを目的に長年、看護職員の養成を行っているが、学生数の減少から学校経営は非常に厳しい。

福岡県医師会としては、地域医療を支える准看護師を始めとした、看護職員を養成している医師会立養成所を引き続き支援していく。

